

美容センサス上期・・・男女の美容サロンの利用（利用率・利用頻度・利用単価など）に関する経年調査  
美容センサス下期・・・男女の美容意識と美容行動全体（サロンおよび代替環境を含む）に関する経年調査



## マーケット概況 (15～69歳男女の全体平均)

【美容室】理美容両方において男女共に、利用率、利用回数、利用金額はほぼ横ばい。ネット予約者率が男女共に大きく伸び、約4割に

【ネイル】女性の利用回数が増加、ネット予約者率が6割を超える

【エステ】女性の利用率はほぼ横ばいの中、利用回数がフェイシャル、ボディ・痩身、脱毛全てにおいて減少。利用金額は女性の脱毛が増加。ネット予約者率はフェイシャル、ボディ・痩身が増加しそれぞれ5割、6割超え、脱毛は減少

【リラクゼーション】利用回数は女性の脱衣が大きく減少、男性は増加。利用金額は男性が着衣(マッサージなど)・脱衣共に増加。ネット予約者率は全体的に増加し、特に着衣が男女共に伸びが大きい

【アイビューティー】女性の利用回数が増加、ネット予約者率も増加し、約7割に

	美容室				理容室				ネイル			
	女性		男性		女性		男性		女性		男性	
	今回	前年比	今回	前年比	今回	前年比	今回	前年比	今回	前年比	今回	前年比
利用率	86.0%	-0.6pt	33.1%	+0.4pt	-	-	51.3%	+0.5pt	10.0%	+1.0pt	3.5%	+0.5pt
利用回数/年	4.44回	-0.06回 (-1.3%)	5.37回	-0.01回 (-0.2%)	-	-	5.95回	+0.14回 (+2.4%)	4.31回	+0.21回 (+5.1%)	-	-
利用金額/回	6,475円	+46円 (+0.7%)	4,108円	+41円 (+1.0%)	-	-	2,539円	+31円 (+1.2%)	5,215円	+27円 (+0.5%)	-	-
ネット予約者率	40.6%	+5.9pt	38.3%	+4.4pt	-	-	-	-	62.3%	+3.3pt	-	-

	エステ：フェイシャル				エステ：ボディ・痩身				エステ：脱毛			
	女性		男性		女性		男性		女性		男性	
	今回	前年比	今回	前年比	今回	前年比	今回	前年比	今回	前年比	今回	前年比
利用率	9.8%	+0.5pt	4.3%	+1.0pt	6.3%	+1.8pt	4.2%	+1.1pt	10.9%	+0.2pt	4.5%	+0.5pt
利用回数/年	4.30回	-0.43回 (-9.0%)	-	-	3.51回	-0.60回 (-14.6%)	-	-	3.51回	-0.09回 (-2.5%)	-	-
利用金額/回	6,310円	-311円 (-4.7%)	-	-	6,775円	-48円 (-0.7%)	-	-	6,382円	+582円 (+10.0%)	-	-
ネット予約者率	51.6%	+2.8pt	-	-	60.4%	+1.6pt	-	-	61.9%	-6.1pt	-	-

	リラクゼーション・着衣(マッサージなど)				リラクゼーション・脱衣				アイビューティー			
	女性		男性		女性		男性		女性		男性	
	今回	前年比	今回	前年比	今回	前年比	今回	前年比	今回	前年比	今回	前年比
利用率	16.2%	+0.9pt	14.2%	+1.5pt	7.8%	+0.4pt	5.9%	+0.7pt	6.7%	±0.0pt	3.4%	+0.7pt
利用回数/年	5.35回	-0.35回 (-6.1%)	5.31回	-0.29回 (-5.2%)	2.89回	-0.68回 (-19.0%)	3.53回	+0.30回 (+9.3%)	4.55回	+0.55回 (+13.8%)	-	-
利用金額/回	4,060円	-149円 (-3.5%)	4,155円	+121円 (+3.0%)	5,923円	-331円 (-5.3%)	6,051円	+397円 (+7.0%)	4,601円	-76円 (-1.6%)	-	-
ネット予約者率	42.8%	+7.9pt	38.1%	+8.8pt	57.4%	+5.9pt	48.8%	+1.4pt	67.0%	+3.1pt	-	-

### 美容センサス2018年上期 調査概要

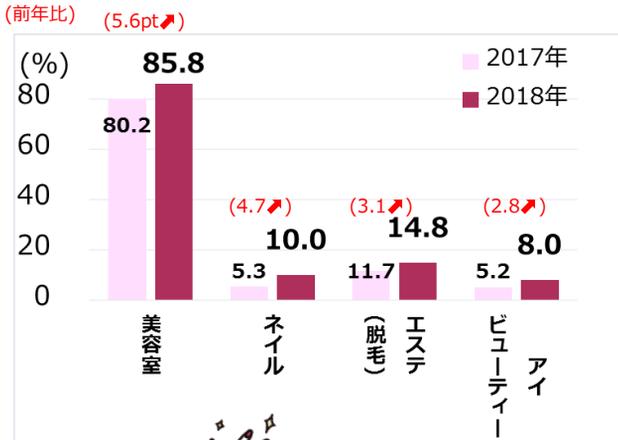
- ▶ 調査目的：男女の美容意識を把握し、美容の利用動向・意識に対する定期観測を行う
- ▶ 調査方法：インターネットによるアンケート調査
- ▶ 調査対象・調査エリア：
  - ▷ 全国、人口20万人以上の都市在住の15～69歳の男女サンプル（女性6,600サンプル、男性6,600サンプル）
  - ▷ 70代（70～79歳）データについて ※同時期・同内容で調査を実施した男女70～79歳は全体値には含まず、参考数値として掲載
  - ▷ 男性サンプルは、2017年上期まで女性の6分の1で2018年上期より6,600に
- ▶ 調査実施時期：2018年2月16日（金）～2月26日（月）

## 10代※女性のサロン利用が増加！

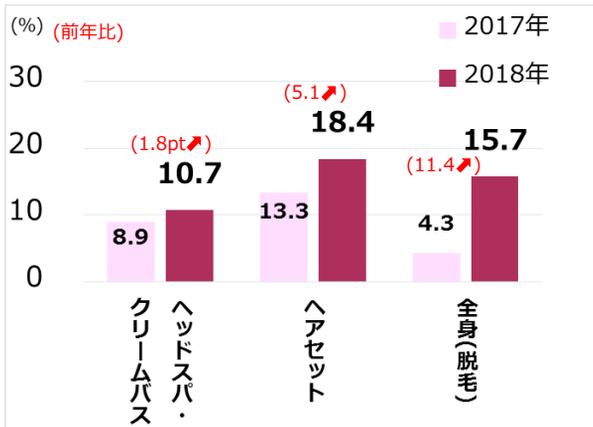
(ヘア・ネイル・エステ(脱毛)・アイビューティー) ※15~19歳



## サロン利用率(10代女性)



## サロンでのメニュー利用(10代女性)



女性全体の利用率がほぼ横ばいの中、10代女性の美容サロン利用が増加している。美容室で5.6pt、ネイルサロンで4.7pt、エステサロン(脱毛)で3.1pt、アイビューティーサロンで2.8pt増加。

【美容室】ヘッドスパ、ヘアセットなど、付加価値メニューがこの2年で増加。

【脱毛サロン】全身脱毛の利用が、昨年4.3%から15.7%へ大きく伸びる結果に。また脱毛サロン利用者のうちワキ脱毛の利用率が約9割に達している。

## ◆データから見る美容業界の動向分析

~10代女性の「メニュー利用」が高まった背景~

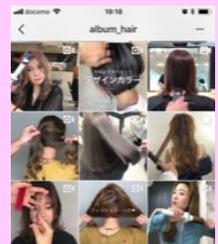
▶「ヘッドスパ」・・・マーケット全体でヘッドスパを利用できるサロンが増加。また10代女性は初回クーポンを利用することが多いが、その際クーポンに「ヘッドスパ込み」が多いことも利用経験を増やしていると考えられる。

▶「全身脱毛」・・・脱毛サロンは大手が「ワキ500円永久脱毛」を掲げるなど、ますます低単価化が進んでいる。またここ数年で、安価な全身脱毛サロンも増えており、全身脱毛では「定額支払い、毎月1万円」など利用しやすい料金体系になっていることも10代の利用を進めている要因。

10代女性の利用金額はまだ他の年代と比べると低いものの、美容室やネイルサロンでは昨年より金額が増加しており、今後の利用増加によるマーケット拡大に期待したい。

## ◆事例紹介◆10代の顧客獲得に成功している美容室 ALBUM

美容室「ALBUM(渋谷区など4店舗展開)」では、10~20代が来店客の8割以上を占める。おしゃれな雰囲気店内、外国人風カットなどの最新トレンドをおさえたスタイルが、単価3,000円とお手頃価格で手に入る事が圧倒的な支持の理由。敷居の低い価格を設定することで、彼女たちに頻度高く来てもらうのが戦略。また、集客・ブランディングにはInstagramをフル活用。公式アカウントのフォロワーは30万人を超える。それぞれの美容師がInstagramでのトレンド発信を積極的に行っており、デビュー2年目でフォロワー10万人を突破している美容師も。Instagramきっかけでの来店も非常に多い。

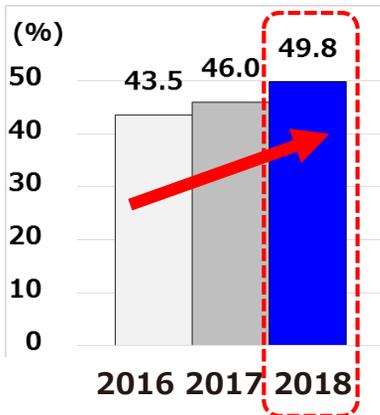


※ALBUM Instagramより

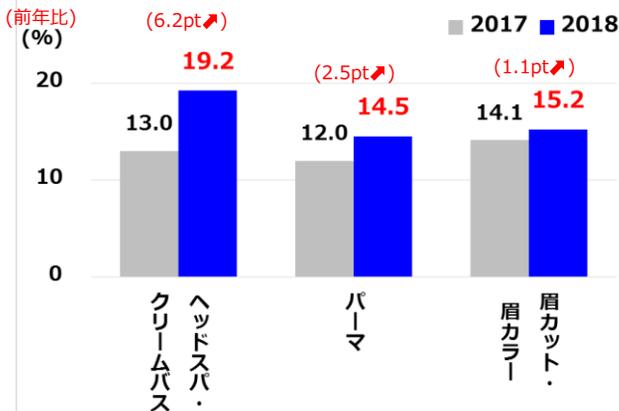
～30代男性のヘッドスパ・パーマ利用が増加！～

**30代男性※の5人に1人がヘッドスパを利用** ※美容室利用者

### 美容室利用率(30代男性)



### メニュー利用率(30代男性)



30代男性の美容室利用が49.8%（前年比3.8pt増）と増。中でも、ヘッドスパの利用は19.2%（6.2pt増）と美容室利用者のうち、5人に1人が利用。またパーマの利用は、14.5%（2.5pt増）。その他眉カット・眉カラー（1.1pt増）などの利用も伸びている。

#### ◆データから見る美容業界の動向分析

男性用化粧品市場規模は、2001年～2016年で約2倍（111億円から216億円※）と大きく成長。美容サロンでも特に美容室・エステサロン（脱毛）での男性の利用が増えている。

#### ▶美容室

美容室でも男性の利用が活発に。ヘッドスパやパーマなどのメニュー利用が広がる背景として、ひとつは悩み(臭い・薄毛など)の対策に、ヘッドスパを提案するサロンが増えていることが考えられる。また、男性をターゲットにしたメニュー展開が進み、男性客への単価アップ提案を進めているサロンも増えている。施術メニュー以外にも、男性専用の店販品もバリエーションが増え、より男性客が利用しやすい商品が増えていると言える。また髪型も、ビジネスシーンでもパーマを取り入れたツーブロックなどが流行し、おしゃれの幅が広がっている。

#### ▶エステサロン(脱毛)

エステサロンでの脱毛も男性全体で増加。ビジネスマンには「剃ると肌が傷むから」「剃る手間が省ける」という理由でヒゲの脱毛が人気がある。

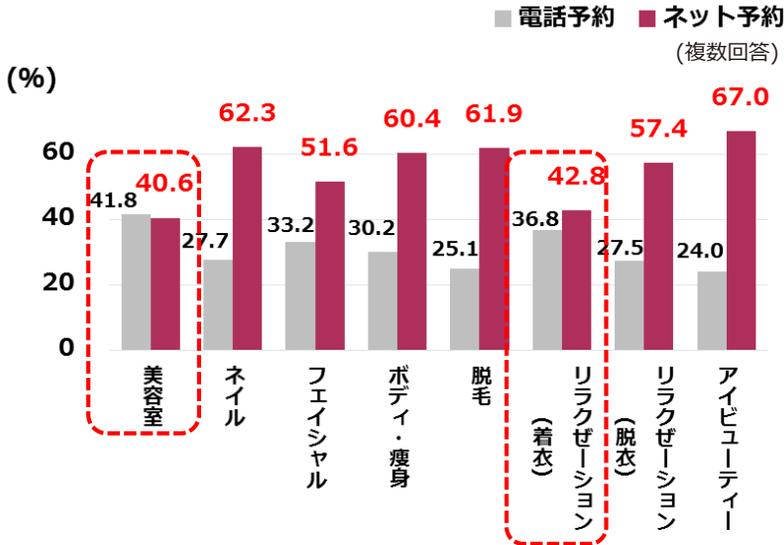
※経済産業省 生産動態統計 男性皮膚用化粧品出荷額

～ネット予約の定着化が進む～

## 女性の美容室のネット予約が電話予約に、“ほぼ”並ぶ リラクゼーション・着衣ではネット予約が電話予約を逆転



### 電話予約 vs. ネット予約 (女性全体)



美容室、リラクゼーションサロン・着衣(マッサージなど)を中心に女性のネット予約利用率が増加している。

#### 【美容室】

電話予約41.8% (前年比2.4pt減) に対して、ネット予約40.6%(前年比5.9pt増)と、“ほぼ”電話予約に並ぶ結果に。

#### 【リラクゼーション・着衣】

電話予約36.8% (前年比6.3pt減) に対して、では、ネット予約は42.8%(同比7.9pt増)で、2014年に当該設問を設置して以来初めてネット予約が電話予約を超えた。

ネイル、エステ(フェイシャル、ボディ・痩身、脱毛)、アイビュウティでは、それぞれ5割以上でネット予約が定着。



### 電子商取引市場規模

(サービス系分野(予約・決済含む)) (億円)

分類	2015年	2016年	2017年	前年比
飲食サービス	2,379	3,292	4,502	36.8%
<b>理美容サービス</b>	<b>2,420</b>	<b>3,261</b>	<b>4,188</b>	<b>28.4%</b>
旅行サービス	28,850	30,393	33,742	11.0%
チケット販売	3,750	4,468	4,595	2.9%
金融サービス	6,192	6,113	6,073	▲0.7%
その他※	5,423	6,005	6,486	8.0%
サービス市場・計	49,014	53,532	59,568	11.3%

※その他：医療、保険、住居関連、教育など

### ◆データから見る美容業界の動向分析

2017年度の経産省発表の電子商取引市場規模※において「理美容サービス」は4,188億円(前年比+28.4%)。2015年度2,420億円→2016年度3,261億円→2017年度4,188億円と過去3力年で約1.7倍の市場規模に。金融サービス、チケット販売という電子商取引の大きなマーケットが「当たり前化」し、前年からの伸びが鈍化する中、理美容、飲食の業界では、まさに今、電子商取引(=ネット予約)が伸び盛り。ネットとの親和性の高い20~30代から、現在では40代~60代へも浸透し始めている。

※平成29年度、経済産業省・電子商取引に関する市場調査より(平成30年4月25日発表)